

人とのかかわりを通して自分を高めよう

海田町立海田西小学校 対象学年（５年）

体験活動種類 **交流**

体験活動場所・宿泊場所 福山市・県立福山少年自然の家

【学校紹介】

本校は、海田町西部に位置し、広島市安芸区に隣接している。学校の西部には工場・倉庫・商業施設などの産業地域が広がり、住宅地域は学校周辺と国道31号線沿いに集中している。また、付近の道路の交通量も大変激しい。そのため遊び場も限られており、児童が十分な自然体験や外遊びができる環境にあるとはいえない。

学校教育目標を「自ら学び、心豊かで、たくましく生きる児童の育成」とし、知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざしている。児童は、各学年が1学級で少人数ということもあり、落ち着いて学校生活を送っている。しかし、大きな集団や普段と違った環境や場では自己表現するのが苦手である。

ここ数年、研究推進では、外国語活動を通して「児童同士のかかわりの質をより高め、積極的にかかわり合いながら学び合おうとする態度」を育てていくことをねらいとして取り組んできている。その成果は、着実に出てきているが、実生活の中で生かすところまでには至っていない。

校長名：中神 裕子

児童数（学級数）：165名（8学級）

所在地：安芸郡海田町南つくも町12-3

電話番号：082-822-1031

URL：<http://www.kaitanishi-e.ed.jp/>



【体験活動のねらい】

集団生活を通して、協力する態度や責任感を養い、人とのかかわり方や思いやりの心を育成する。

【指導計画】

実施時期	活動内容	実施時間数	教育課程上の位置づけ	実施場所	指導者
事前学習	集団におけるルールやマナー、協調、礼儀、公德心の育成	1時間	道徳	学校	担任
	学習テーマの設定、下調べ、班別の目標設定	5時間	総合的な学習の時間	学校	担任
	社会奉仕活動、公共心の育成	1時間	道徳	学校	担任

集団宿泊活動	宿泊体験学習 自然ふれあい体験（自然観察，星空観察） 地域の方との交流（鞆の浦ウォークラリー） 野外炊飯 キャンプファイヤー，ウォークラリー 社会奉仕活動（清掃活動） 歴史及び地域学習	6月6日 ~ 6月9日 【3泊4日】 （24時間）	学校行事 総合的な学習の時間 理科 社会科 家庭科	広島県立福 山少年自然 の家	学校職員 体験活動 指導員 地域の方
事後学習	多くの人の支えに感謝する心情の育成	1時間	道徳	学校	担任
	郷土の文化・伝統を大切にすることの育成	1時間	道徳	学校	担任
	テーマに基づく活動のまとめ，成果発表会の計画・資料作成	10時間	総合的な学習の時間	学校	担任
	礼状作成，体験活動の感想文	2時間	国語科	学校	担任
学習発表	授業参観：総合的な学習の時間 児童発表：宿泊体験学習について	2時間	総合的な学習の時間	学校	担任

【体験活動の概要】

ウォークラリー

体験活動3日目に実施する鞆の浦ウォークラリーを見据えて，施設周辺のウォークラリーを実施した。施設の方からウォークラリーの説明を受けた後，グループでコマ地図をもとにスタートした。しかし，全てのチェックポイントを通過し，時間内に無事ゴールできたのが8グループ中4グループだった。その中から見つけることができた多くの課題をもとに，鞆の浦ウォークラリーに向けて，目標を明確にすることができた。



鞆の浦ウォークラリー

体験活動初日に行ったウォークラリーをもとに立てた目標を掲げ，鞆の浦を舞台にウォークラリーを実施した。各班で立てた目標をもとにウォークラリーを実施できたことで，全てのグループが時間内に無事ゴールすることができた。初日の失敗体験を成功体験に結びつけることができ，真の達成感を味わえる学習となった。2回のウォークラリーを通して，グループの仲間とかかわり合いながら，課題を解決することが大切であることを実感することができた。また，鞆の浦を舞台に行ったウォークラリーであることから，チェックポイントの要所で俳句を詠む課題を課した。地域の方・観光客の方などとあいさつを交わしながら気持ちよく歩く姿が大変印象的であった。



施設清掃活動

4日間お世話になった施設に対して感謝の気持ちを込めて最終日に清掃活動を行った。自分たちが使用させていただいた場所やそれ以外の場所まで清掃場所を割り振り活動できた。



【体験活動の効果を高める事後学習】

体験で学んだことを生かす場面を考えた結果、児童にとって生活の基盤となっている学校生活が最適だと判断し、以下のような指導案で授業を行った。児童から出された意見をもとに学習発表会での発表内容も組み立てた。この授業後には、学校生活だけではなく、日常生活においても成果を生かそうとする意識が高まった。

総合的な学習の時間学習指導案

単元名 「まとめよう！野外活動で学んだこと」

本時の目標 野外活動で学んだことを整理し、学校生活のどのような場面で生かせるのか考え、それを全校に広める方法を考えることができる。

学習の流れ

学習活動	指導上の留意点	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の学習課題をとらえる。	野外活動で学んだことを学校生活に生かそう	
2 野外活動で学んだことを成果と課題に分けて具体的にまとめる。	しおりなどをもとに、どの場面でどんなことを学んだのか、成果と課題に分けて具体的に整理することができるようにする。 話し合いは、野外活動の班で行えるようにする。	
3 学校生活における課題を挙げる。	1日の日課をもとに、普段の学校生活で起きている課題を考えることができるようにする。	
4 野外活動の成果を、学校生活における課題とつなげる。	野外活動の成果と学校生活の課題のつながりが、視覚的に見て分かるようにまとめる。	野外活動での成果と学校生活の課題を結び付けている。(行動観察・発言・ふり返りカードの記述内容)
5 まとめたものを、どのように広げていくのか考える。	学校全体に広めていける方法を考えることができるようにする。 呼びかけや発表だけではなく、態度で示すことも大事だということを押さえる。	

【交流先や施設等との連携】

計画時、施設の指導員の指導を受け、プログラムの精選を行ったことが活動の充実につながった。午前・午後1つずつのメインプログラムで計画を組むことが、充実した活動につながるようになった。

【評価の工夫】

1日の終わりにゆっくりふり返りができる時間を設け、活動をふり返るとともに、次の日の目標を決めるようにした。成果と課題が明確になり、次の日の活動にすぐに生かすことができるので大変有意義な時間となった。

朝の集いで話をする担当の職員を交代制にし、いろいろな指導者が話をする場を設定した。違った視点での評価をすることができ、大変効果的であった。

【安全面の配慮事項】

事前に宿泊先や体験活動場所等の下見に行き，関係者と細やかな打合せを行うことにより，活動を安全・円滑に実施することができた。

配慮を要する児童や緊急を要する事態への対応を関係職員でしっかりと確認することで，安心して活動に取り組むことができた。

【体験活動の成果と課題】

成果と課題

体験活動引率者で構成する「山・海・島」体験活動推進委員会を設置し，定期的に会議を開いて立案・協議し，進捗状況を確認しながら進めていくことができた。

宿泊体験の場でも全職員で協力して仕事分担をしていくように計画を立て，組織的に取り組んだことで，ゆとりを持って活動を行うことができた。

「山・海・島」体験活動推進委員会で立案・協議・準備していくことで，担当学年だけではなく校内全体で体験活動に向けて取り組むことができた。

宿泊先と連携を密に取り，活動内容や事前学習・事後学習等について校内でも十分に協議することで活動を充実させることができた。

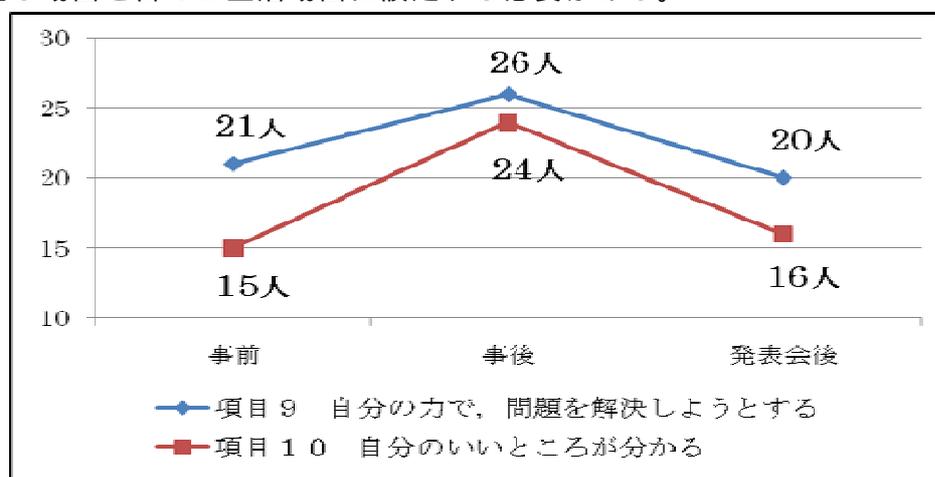
児童への意識調査結果（下記グラフ）から体験活動を実施したことにより，事前と事後では特に項目9，10において児童の意識が高まっていることがわかる。

長期宿泊となることで，不安や心配を抱えている保護者への説明・対応を充実させていく必要がある。また，費用の負担をかけるため丁寧な説明が必要となる。

受入施設との連携を密にし，プログラムの組み立てや役割分担を綿密に計画し，計画後の変更ができるだけないようにすることが必要である。

単発的な実施では効果をあげることが難しい。継続的な実施をするためには，保護者の理解が必要となる。費用を抑えた上で，充実した体験活動をプログラムしていくことが求められる。

児童への意識調査結果（下記のグラフ）から，多くの項目において事後から発表会後にかけて意識の低下が見られた。特に顕著な項目は9，10であった。このことから，意識や行動を継続させていくためにも，児童自身が体験活動で学んだことをふり返る場面を日々の生活場面に設定する必要がある。



児童の成果

成果発表会で学校生活や日常生活で生かせることをまとめて発表したことで、意識が高まった。意識を継続させるためには日々省みることができるよう目標として掲げておく必要がある。児童から出てきたまとめは以下の通りである。

< 学校生活で生かせること >

- ・ 話合いの時に意見を出し合い、みんなで意見をまとめること。
- ・ 困っている人への思いやりを持つこと。
- ・ チャイムが鳴るまでに着席すること。
- ・ 団体行動をする時に、自分から仕事を見つけてすること。
- ・ 授業中と休憩中の切り替えをすること。
- ・ 朝会や一斉下校の時間を守ること。
- ・ 寝る時刻までにテレビ、ゲームをやめ、布団に入ること。

< 日常生活で生かせること >

- ・ 家でも自分の思いや意見をはっきりと伝えること。
- ・ 遊び帰りの時間を守ること。
- ・ 家族から頼まれたことに責任を持つこと。
- ・ 寝るまでに全ての準備を済ませ、自分で物事を進められるようにすること。
- ・ 遊ぶ時と勉強する時の気持ちの切り替えをすること。
- ・ 登校班の集合時刻を守ること。